令和5年度廿日市市公共交通協議会（第4回） 要点

日 時：令和5年9月1日（金）10時00分～11時30分

場 所：廿日市市役所 7階会議室

委員総数：21名

出席委員数：19名（廿日市市公共交通協議会規約第8条第2項の規定による定足数を充足）

傍聴者数：0名

1 開会

2 審議

事務局：議案第1号から第9号までは地域公共交通計画に基づき再編を計画している路線の運行計画についての議案になるため、一括で説明を行いたいが良いか。

会 長：事務局から一括説明の提案があったが良いか。

（事務局の提案どおりで良いとの意見があり、議案第1号から第9号までを一括で説明）

- (1) 議案第1号：広電バス阿品台団地線の運行計画について
議案第1号について、事務局より説明
- (2) 議題第2号：広電バス四季が丘団地線の運行計画について
議案第2号について、事務局より説明
- (3) 議題第3号：廿日市さくらバス阿品台ルート（旧：西循環）の運行計画について
議案第3号について、事務局より説明
- (4) 議題第4号：廿日市さくらバス宮内ルートの運行計画について
議案第4号について、事務局より説明
- (5) 議題第5号：廿日市さくらバス原ルートの運行計画について
議案第5号について、事務局より説明
- (6) 議題第6号：佐伯デマンドバス中道・栗栖線（旧飯山・中道線）の運行計画について
議案第6号、資料2について、事務局より説明
- (7) 議題第7号：廿日市さくらバス佐方ルートの運行計画について
議案第7号について、事務局より説明
- (8) 議題第8号：吉和さくらバスの運行計画について
議案第8号について、事務局より説明
- (9) 議題第9号：後畑ルートの運行計画について
議案第9号、資料1について、事務局より説明

審議結果：提案どおり承認

《質疑応答・意見》

A委員：PASPYの利用期限はあるのか。

事務局：PASPYの定期券の利用期限ということであれば、定期券の有効期間が利用期限になる。

A委員：PASPYはまだ使えるということか。ICOCAも使えるのか。

事務局：現在の乗車券システムで、PASPY、ICOCA共に令和7年の3月まで利用できる。

会 長：(広電バスの) IC 定期券を廿日市さくらバスでも利用できるのか。

事務局：廿日市さくらバスにもシステムが備わっているため、利用できるようにしていく。

B委員：この度の再編で広電バス阿品台団地線、四季が丘団地線が減便されても、サービス水準が下がらないようにものすごく工夫されたのは理解した。細かい点だが、ダイヤ案について、広電バス四季が丘団地線のダイヤの中に、さくらバス宮内ルートが補完する時刻を記載しているが、さくらバス阿品台ルートも四季が丘に乗り入れている便があるため、同様に記載した方がよいと思う。宮内串戸駅には止まらないが、四季が丘からゆめタウンや市役所へ行く便が1便、市役所から四季が丘に行く便は2便ほどある。こういう便もある、というのが利用者に分かりやすく示せるといい。

会 長：利用者が分かりやすい時刻表を、とのことだが、事務局の方で何かあるか。

事務局：現在、広電バス四季が丘団地線のページで表示しているのが、宮内串戸駅を経由する便を基本としているが、宮内串戸駅を経由しなくてもゆめタウンに行く便はあるので、分かりやすい時刻表の作成に努める。

C委員：議案とは関係ないが、吉和さくらバスでICカードが利用できるようになるといい。

事務局：吉和さくらバスに限らず、大野ハートバスもICカードが利用できない状況であり、システム等の課題はあるが、検討をしていきたい。

D委員：以前から協議会で話をしているが、広電の路線バスの維持が難しい状況になっていた中、さくらバスとの一体的な運行に切り替えるというご英断をいただいて、運行の面で一体的な取組をされ、大変感謝している。定期券について、現在発行しているPASPYの定期券を、並行区間について廿日市さくらバスでも利用できるようになるということで、感謝している。今回は第一歩であり、これから地域のバス路線をどう維持していくか、という将来的な課題の中で、さらに見直しや、運賃面についても、より利便性の高い在り方を引き続き検討させていただきたい。今回の定期券は、区間を指定しての定期になるが、面的に利用いただける定期券を広島中心部では導入しているため、廿日市市でも導入できるよう、今後の課題として認識している。引き続き、より良いバス路線の在り方にむけて一緒に取り組んでいきたいと考えている。

E委員：私は佐伯地域に住んでいるが、今回広電バスが減便されるということで、広電バスの津田線の運行についてもいずれは無くなるのでは、と懸念している。無くなった場合は、さくらバスで代替していただけるのか。今後の見通しはどういう状況なのかが知りたい。

事務局：広電バスの津田線については、幹線として位置付けている重要な路線のため、市としても維持していく考えである。現在も運行の補助を行っているが、引き続き広電にも協力をいただき維持していく必要があると考えている。

会 長：議案1～9号について、この内容で宜しいか。

<承認>

3 報告

(1) 吉和地域における自家用有償旅客運送の運行内容の変更について

資料5、6について、事務局より説明

《質疑応答・意見》

F委員：新しいダイヤでは、運行経路を福祉センターを出て上吉和方面へ行き下吉和方面とに一本化することで分かりやすくなっている。吉和ふれあい交流センターは吉和福祉

センターと隣接しているので、どちらにおいても利用できるようになっていと思う。

(2) 廿日市市地域公共交通計画（別紙）の策定について

資料7について、事務局より説明

《質疑応答・意見》

事務局：本計画については、内容が確定次第、審議をいただきたいが、内容が今回の説明と大きく変更しないため、書面での審議をお願いしたいと考えている。

会 長：これまで「地域内フィーダー系統確保維持計画」として作成していたものが、法改正に合わせて、「交通計画の別紙」という位置づけに変更になった。これは本協議会で承認いただいて申請するものとなっている。様式が変わったということと、現在の計画は固まっていないため、今日で内容の概要を報告し、内容が固まり次第、書面審議をしたいということで、宜しいか。

事務局：そのとおりである。

G委員：法改正によって、地域間幹線系統についても、計画に位置付けることとなっていると思うが、県の計画等で取り扱うのか教えていただきたい。

事務局：地域間幹線系統は広島県で策定する交通計画に記載をしていただける。そちらで対応させていただく。

会 長：内容が固まり次第、書面審議をすることについて、宜しいか。

【異議なし】

会 長：それでは、この件については後日書面にて審議を行うこととする。

4 その他

(1) 公式LINE友だち登録キャンペーン（案）について

資料5、6について、事務局より説明

《質疑応答・意見》

質疑・意見無し

(2) 広島空港アクセス路線（宮島路線）運行実証実験について

資料4-1、4-2について、広島県空港振興課及び広島国際空港（株）より説明

《質疑応答・意見》

H委員：全ての便は広島空港を起点又は終点として計8便/日。8便のうち、宮島口を起点又は終点として各2便/日とあるが、便とは往復ということでしょうか。

空港振興課：全ての便の起点と終点を広島空港と宮島口の往復として定めるものではないが、その内2便は必ず広島空港と宮島口を往復する必要がある。その他の便は例えば広島空港から五日市駅等までの往復でもいいということとしている。

I委員：宮島口の活性化が進んでおり、いかに宮島口周辺で宿泊あるいは食事をしてもらおうかという課題に対しては、逆行する取組なのではないか。

広島国際空港：広島空港が民営化した際に、最終的に広島空港の利用者586万人の目標を掲げ、広島空港からバス路線の拡充を図るため、広島県とチームを組み、宮島路線、松江、今治、浜田、岡山など10箇所程度を昨年度1年間かけて分析し、アクセス路線として取り組んでいく優先順位を定めた。国際線がコロナ前の便数に戻っていない中、現状では県外路線は厳しいという結論に至り、優先

順位が高い宮島路線で実証実験をすることとなった。現在広島空港から宮島までのアクセスが、広島リムジンで移動すると100%乗り換えが発生する。今回は、広島空港の利用者が宮島まで直接行ける手段を提供し、単なる往復利用ではなく食事や宿泊等の観光利用やビジネス利用をしていただく想定をしている。まず社会実験として1年間チャレンジさせていただきたい。

J委員：趣旨は分かった。ありがとうございます。

会 長：1年間の社会実験という事だが、1年後はどうなるのか。

広島国際空港：補助金なしで事業者が運行ができる状態を目的としている。その判断期間を1年間としており、その結果をもって、今後松江や今治等、県外路線に広げていきたいと考えている。

K委員：もしその路線が設定されたら場合、多くは観光目的の利用が想定されるが、飛行機から降りて、バスに乗る際にバスのダイヤがよくないとあまり利用されないと思う。どういったダイヤ設定をするのか。

広島国際空港：プロポーザルで選定された事業者の提案次第にもよるが、こちらで想定しているのは、航空便が朝9時前に到着する便、その後の9:30に到着する便への接続便、この2便は宮島への観光客向けの便として想定している。そうすると直行で1時間くらいのため、午前中には宮島にたどり着くイメージである。

会 長：運行が決定次第、本協議会で審議することとなるが、事務局の提案どおり、書面審議でよいか。

【異議なし】

会 長：それでは、この件については後日書面にて審議を行うこととする。

5 閉会